

平成24年度から 国立国会図書館職員採用試験を 変更しました。

採用試験制度を見直し、I種・II種・III種試験を廃止し、

新たに 総合職試験

一般職試験(大卒程度試験)

一般職試験(高卒程度試験)

に移行しました。

総合職試験と一般職試験(大卒程度試験)を併願できる総合職試験特例制度があります。

	総合職試験	一般職試験 (大卒程度試験)	一般職試験 (高卒程度試験)
位置づけ	政策の企画立案に係る高い能力を有するかどうかを重視して行う職員の採用試験	的確な事務処理に係る能力を有するかどうかを重視して行う職員の採用試験	
初任給格付け	行(一) 2級	行(一) 1級	
学歴区分	大卒程度		高校卒業程度
専門試験の種類	次のうち、受験者があらかじめ選択する1科目についての筆記試験 法学(憲法、民法、行政法、国際法から2科目)、政治学、経済学、社会学、文学、史学(日本史、東洋史、西洋史から1科目選択)、図書館情報学、物理学、化学、数学、工学・情報工学(工学全般、情報工学から1科目選択)、生物学		-
1次試験	教養試験(多肢選択式)		教養試験(多肢選択式) 英語試験(記述式) 作文試験
2次試験	専門試験(記述式) 英語試験(記述式) 小論文試験 性格検査 個別面接	専門試験(記述式) 英語試験(記述式) 性格検査 個別面接	性格検査 個別面接
3次試験	集団討論 個別面接		-
受験資格 (採用年度の4月1日時点の年齢)	21歳以上30歳未満 但し、21歳未満でも大学を卒業した者・卒業見込みの者は可		18歳以上24歳未満の者で次に掲げる者。 ・高校・短大・高等専門学校等を卒業した者・卒業見込みの者(但し、大学卒業以上の学歴を有する者・大学を卒業見込みの者を除く)